

学級活動指導案

令和3年10月22日(金) 第5校時
第5学年1組 授業者：二ノ宮 由紀子

1 議題「野外学習の事前取組を決めよう」

(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について

(1)児童の実態

本学級の児童は、個性豊かで、様々な活動に対して意欲的に取り組むことができる児童が多い。感染症対策で、活動や行事の制約がある中でも係活動を工夫しながら行い、クラスのみならず楽しく過ごせるような活動を考えながら学校生活を送っている。男女分け隔てなく関わるができる児童がほとんどで、学級遊びや、休み時間も声を掛け合って仲良く遊んでいる姿が見られる。

学級活動については、オリエンテーションにより、学級会の進め方や約束などについて共通理解を図り、様々な議題を取りあげて実践を積み重ねてきた。授業や学級会の中では、仲間の考えやその理由を聞き取ることや、自分と違う考えを否定するのではなく、よさを見つけたり、互いの考えを認めたりして、新しい考えを創り出すことを大切にしている。しかし、仲間と自分の意見が違う時に、それぞれのよさを断片的にしか捉えることができず、よさを関連づけて比べ合うことができていなかったり、仲のよい仲間の意見に同調したりする児童もいる。

(2)学級経営案との関わり

学級目標「**⑤**もち切りかえ・**④**いじ考動・**⑥**かまを大切に」を目指して誰に対しても協力し、助け合える姿がある。しかし、話し合い活動になると自分の考えがあるにもかかわらず、話すことができない児童に対して、どのように合意形成をしていくかを考えていきたい。また、受容や協調ができる集団のよさに加えて、自ら働きかけ、多様な考えを練り上げる力も育てたい。

(3)議題化までの流れ

10/8	野外学習のスローガンを決定する。「・を深めよう～責任・考動・協力～」
10/12 10/13	計画委員がスローガンを受けての取り組み方について計画する。 計画表の作成をする。
10/20 10/21 10/22	学級会の流れの確認をする。 帰りの会で計画委員が学級会の提案をする。 学級会を行う。

3 評価規準

より良い生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間性をよりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学校・学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し活動の方法を身に付けている。	みんなで楽しく豊かな学校・学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして、合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学校・学級生活をつくるために見通しをもったり、振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

4 研究テーマに迫るための手立て

(1)(研究内容2)【実践】 ①話し合い活動を充実させるための指導の工夫

- Ⓐ児童の主体性を大切にし、児童中心の話し合いを大切にするために、教師が「よい意見ですね」などのように児童の話し合いの内容を方向づけるような助言は控え、児童中心の話し合いになるようにする。
- Ⓑ教師が話し合いの全体の流れを捉え、一人一人の児童の考えを注意深く聞き取り、発言の仕方の良さや、話し合いの進め方のよさを適切な場面で助言する。指導案の中にも指導・助言を明確に位置づけ、児童による自発的、自治的な活動になるようにする。
- Ⓒ「ネームプレート」や「話し合いの流れ」、「今どこの段階かを示すマーク」「折り合いの技」などの掲示によって、一人一人が自分の意見を持ち、仲間の意見と比べながら話し合いに臨むことができるようにする。

(2)(研究内容2)【実践】 ②話し合いを活性化するための事前の活動の工夫

- Ⓓ議題は、児童が提案ボックスに入れた意見から選定することで、話合う必要感をもたせるようにした。どんなことが議題になるのかをオリエンテーションで話したり、必要に応じて言葉がけをしたりすることで、児童が学級生活の問題に気付くことができるようにした。教室には、議題や提案理由、話し合いのめあてなど、共通理解しておかなければならないことを事前に掲示しておくことで、児童が話し合いの内容に興味をもち、学級会への参加意欲を高めるようにした。
- Ⓔ計画委員が話し合いに向けたリハーサルを行う際に、自分の考えと異なる意見のよさを比べ合いながら意見を決められるような進捗をできるように、事前に話し合いをシミュレーションする。

5 本時の目標

運動会の振り返りの成果や課題から、野外学習のスローガンを達成するために、相手の思いを受け止めて聞き、異なる意見を比べ合い、取り組み方を決めることができる。

6 本時の展開

過程	主な学習活動	見届ける視点(◇)と指導・助言								
つかむ	<p>1 話合いの議題と提案理由を確認する。 <議題> 野外学習の事前取組を決めよう。</p> <div data-bbox="742 224 1082 331" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> 野外学習スローガン 絆を深めよう ~責任・考動・協力~ </div> <p>提案理由</p> <div data-bbox="175 347 683 560" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 運動会では、クラスの課題を取り組んできて、協力できる日が増えてきました。そこで、誰もが下級生の手本となる姿になれるようにもっとみんなの心を一つにしたいです。 だから、野外学習に向けて学級をもっと高めていけるような取組みを決めたいです。 </div> <div data-bbox="742 347 1069 571" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <決まっていること> ・スローガンを達成できるような取組にする。 ・運動会での課題と成果を生かす。 ・野外学習前日まで振り返る。 ・取組は3つにする。 </div> <p>2 提案理由を基に、原案のよさを出し合う。</p>	<p>◇本時の提案理由を理解して、何を話合うかを捉えているか。(表情・反応) ・司会者に決まっていることを確認するように助言する。</p> <p>研究内容 2-②⑥</p> <p>・話合いが条件に沿って進むように、話合いで大切にする視点(比べ合う部分を重点的に行う)を教師が全体に助言する。</p>								
話し合う	<p>話し合うこと①「どんな内容にするのか」</p> <table border="1" data-bbox="223 627 1101 918"> <tr> <td data-bbox="223 627 438 739">A 時間を守る。</td> <td data-bbox="438 627 638 739">B ぼかぼか言葉・ぼかぼか行動をする。</td> <td data-bbox="638 627 869 739">C 運動会の取組「時間」「姿勢」をやる。</td> <td data-bbox="869 627 1101 739">D 最後まで静かに話を聞く。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="223 739 438 918">野外学習は、時間で動くから時間を守ることは続けていきたいよ。</td> <td data-bbox="438 739 638 918">仲間よいくところを見つけたいから、きずなの木を満開にしたいよ。</td> <td data-bbox="638 739 869 918">続けてやるなら、「5分前行動」「相手の話を聞いて素早く反応する」は、やっていきたいよ。</td> <td data-bbox="869 739 1101 918">「話す・聞く」の取組をしているから続けていきたいよ。</td> </tr> </table> <p>☆どのような取組み方法がよいか、比べ合って決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Bは、班の子のよさを見つけやすいから、野外学習も仲間と協力できそうだよ。 ・Cでやったことは、野外学習でもそのまま使えるよ。 ・AはCの中に入るからスカットの技が使えるよ。 ・AもBもDも大事だからいくつかOKの技にしたいよ。 	A 時間を守る。	B ぼかぼか言葉・ぼかぼか行動をする。	C 運動会の取組「時間」「姿勢」をやる。	D 最後まで静かに話を聞く。	野外学習は、時間で動くから時間を守ることは続けていきたいよ。	仲間よいくところを見つけたいから、きずなの木を満開にしたいよ。	続けてやるなら、「5分前行動」「相手の話を聞いて素早く反応する」は、やっていきたいよ。	「話す・聞く」の取組をしているから続けていきたいよ。	<p>◇提案理由や決まっていることと、これまでの経験を基に、自分の考えに理由をつけて発言できているか。(発言内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決まっていることや、これまでの経験を基に話す姿、異なる立場の児童の思いを意識して発言している姿を価値づける。 <p>研究内容 2-①④⑥</p> <p>◇異なる仲間の意見に共感的に耳を傾け、良さを比べ合いながら合意形成することができているか。(発言内容)</p>
A 時間を守る。	B ぼかぼか言葉・ぼかぼか行動をする。	C 運動会の取組「時間」「姿勢」をやる。	D 最後まで静かに話を聞く。							
野外学習は、時間で動くから時間を守ることは続けていきたいよ。	仲間よいくところを見つけたいから、きずなの木を満開にしたいよ。	続けてやるなら、「5分前行動」「相手の話を聞いて素早く反応する」は、やっていきたいよ。	「話す・聞く」の取組をしているから続けていきたいよ。							
まとめる	<p>☆決まったことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いで決まったことを確認する。 <p>話し合うこと②「どんな振り返り方をするか」</p> <table border="1" data-bbox="223 1299 1053 1579"> <tr> <td data-bbox="223 1299 502 1400">A 学級全体で毎日振り返る。</td> <td data-bbox="502 1299 750 1400">B 班ごとに毎日振り返る。</td> <td data-bbox="750 1299 1053 1400">C それぞれの役割を決めて曜日ごとに振り返る。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="223 1400 502 1579">実行委員を中心として、全員で同じことが一斉に取り組むから心が一つになりやすいよ。</td> <td data-bbox="502 1400 750 1579">3人から4人の小集団で見あえるから仲間のがんばりを身近に感じやすいよ。</td> <td data-bbox="750 1400 1053 1579">人任せにせず、自分の役割を責任もって行うことができるよ。また、その日のめあてが1つだから分かりやすくなるよ。</td> </tr> </table>	A 学級全体で毎日振り返る。	B 班ごとに毎日振り返る。	C それぞれの役割を決めて曜日ごとに振り返る。	実行委員を中心として、全員で同じことが一斉に取り組むから心が一つになりやすいよ。	3人から4人の小集団で見あえるから仲間のがんばりを身近に感じやすいよ。	人任せにせず、自分の役割を責任もって行うことができるよ。また、その日のめあてが1つだから分かりやすくなるよ。	<p>◇異なる仲間の意見に共感的に耳を傾け、良さを比べ合いながら合意形成することができているか。(発言内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が自分の立場をはっきりさせて話合い活動が進むようにネームプレートを黒板に貼る。研究内容 2-①③ ・司会者から、「どれが一番スローガンを達成することにつながると思いますか」と、問うことで合意形成できるようにする。 <p>研究内容 2-①⑤</p>		
A 学級全体で毎日振り返る。	B 班ごとに毎日振り返る。	C それぞれの役割を決めて曜日ごとに振り返る。								
実行委員を中心として、全員で同じことが一斉に取り組むから心が一つになりやすいよ。	3人から4人の小集団で見あえるから仲間のがんばりを身近に感じやすいよ。	人任せにせず、自分の役割を責任もって行うことができるよ。また、その日のめあてが1つだから分かりやすくなるよ。								
振り返る	<p>☆どのような取組み方法がよいか、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aは、スローガンを意識しながら、一人一人が取り組めそう。 ・Cは、自分の課題も分かりやすいし、自分一人でも責任をもって取り組みを高めることができるよ。 ・〇〇さんの意見を聞いて 11 人全員が責任をもって考動することがよくなったよ。だから、BとCを合わせて合体の技にしたらどうかな。 <p>3 決まったことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の話合いで決まったことと、話合いの中で見つけた仲間のよさを司会者グループが伝える <p>4 教師の話聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる立場の仲間の思いや考えを取り入れて、全員が納得できる内容を決めることができた成長を価値づける。 ・司会者グループが司会進行のために事前の準備をしたこと、少数意見や提案理由を大切に話し合いをしたことを価値づける。 	<div data-bbox="1141 1657 1484 1904" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】</p> <p>◇多様な意見のよさを受け止め、比べ合うことで全員が納得することができる取組方法の合意形成を図っている。(発言内容)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見だけでなく、異なる意見に耳を傾けた児童のよさを価値づけ、合意形成に至るよさを自覚できるようにする。 <p>研究内容 2-①⑧</p>								

